

NRIs Coordination Session

NRIs の役割とインターネットガバナンスの未来

このセッションは、各地域・各国・ユースのインターネットガバナンスフォーラム(NRIs)の活動を調整し、その持続可能性を確保することを目的としています。特に、今年の IGF 会合は、情報社会世界サミット(WSIS)の 20 周年レビューと IGF のマンデート更新を控える重要な年に開催されます。NRIs の役割はこれまで以上に重要であり、デジタルガバナンスの未来を形成する上で、WSIS+20 や「グローバル・デジタル・コンパクト(GDC)」といった国際的な動きへの貢献が期待されています。

NRIs が直面する主な課題と共有された実践

セッションでは、各 NRI が経験した主要な課題と、それらを克服するための実践が共有されました。

- **時間の制約と準備期間の短縮:** グローバル IGF の開催時期が例年より早まったことで、多くの NRI が会議準備の期間短縮に苦慮しました。特に、ほとんどがボランティアで運営されている NRI にとって、これは大きな負担となりました。
- **資金調達の問題:** 多くの NRI が共通して直面しているのは、活動資金、特に民間セクターからの継続的な資金援助の確保です。一部の NRI は、Internet Society Foundation やドイツ開発基金(GIZ)といった組織からの支援や、現物支給の協力を得ていると報告しました。
- **多様なステークホルダーの巻き込み:** 政府関係者や民間セクター、若者、地方コミュニティの参加を促すことが課題となっています。アルゼンチン IGF は、政府や民間セクターの関与を得るのに苦労した一方、カリブ IGF は活動の影響を示すことで参加を促し、モリシャス IGF は政府との緊密な連携を築いています。西アフリカの IGF は、国会議員や政府関係者の協力を得ることに成功し、それが資金調達にもつながっています。
- **一般市民の関心と理解の促進:** 日本 IGF は、IGF の重要性や活動内容を一般市民に伝え、関心を引き出すことに苦慮していると述べました。オンラインギャンブルや児童保護といった具体的な話題を通じて、より広い層の関心を引こうと試みています。コロンビア

IGF と中南米カリブ IGF も、インターネットガバナンスの概念をより多くの人々に理解してもらうための情報発信戦略に取り組んでいます。

- **活動の継続性とリーダーシップの維持:** 特にボランティアベースで運営される NRI において、メンバーのモチベーションを維持し、活動を継続させていくことが課題です。カリブ IGF は、活動のポジティブな影響を示すことが継続の鍵となると指摘しました。
- **グローバルな政策プロセスとの連携:** WSIS+20 や GDC といった国際的な議論への貢献は重要である一方、その複雑さから理解を促すことが課題となっています。NRI は、これらのプロセスに関するコミュニティの意見を集約し、発信していく役割を担っています。
- **成果の評価と改善:** 今後の NRI の活動においては、これまでのパフォーマンスを評価し、改善点を見つけていくことが提案されました。

今後の展望と事務局への提言

NRI は、インターネットガバナンスのプロセスにおいて、そのマルチステークホルダーモデルの価値を証明し続けています。事務局は、NRI の活動から学び、WSIS+20 に向けた具体的な行動を策定していくことを目指しています。各 NRI からは、資金援助の拡大、グローバルな政策プロセスに関する情報共有の強化、そして NRI 間の連携を深めるための支援などが提言されました。

このセッションは、NRI が直面する共通の課題を浮き彫りにしつつ、互いの経験から学び、協力関係を深めるための建設的な対話の場となりました。今後の NRI の活動と、それが世界のデジタルガバナンスに与える影響に期待が寄せられます。